

# 生活造形

SEIKATSU ZOKEI

Kyoto Women's University

Department of Apparel and Space Design

京都女子大学

生活造形学科

2024

Vol. 69

# 目 次

## 御退職特集

京都女子大学での13年間の歩み	諸岡晴美	1
諸岡先生のこと	渡邊敬子	2
諸岡先生のご退職に寄せて	卒業生	3

## 学科だより

教職員の異動・学生の受賞報告		7
“TES”認定おめでとう！	榎本雅穂	13
令和4年度博士学位論文要旨		14
令和4年度修士学位論文要旨		18
令和4年度卒業論文題目		29
教育活動予算活動報告		33

## ゼミ活動報告

蓮華王院（三十三間堂）夜間照明提案	是永美樹	34
子どもWS「ごみを使ってまちをつくろう！」@京都女子大学附属小学校	是永美樹	35
京都女子学園和裁教育資料の展示とワークショップの開催		
石田妃奈子・大平詞美（青木研究室）		36
型染めワークショップの開催		
岡島美羽・小谷天音・小林華奈（青木研究室）		37
ワークショップ「ハギレでトートバッグを作ろう！」の開催		
竹本妃那・吉田ののか（青木研究室）		38
第1回関西学生アダプティブファッションショーへの参加		
有本すず・阪口晴菜（青木研究室）		39
デザインの実験〈pending〉 思索するデザインのための展覧会	二瓶晃	40

## 総説

「座る」ことから考える現代の住宅設計に関する一考察	是永美樹	44
---------------------------	------	----

## 報文

福祉的なコミュニティ活動の場として住宅を開く基本的要件	是永美樹	51
隠遁の祖・許由の図像について	毛嘉琪	57
足部の皮膚性状における部位差と季節差—夏用靴下設計のために—	玉石七海、坂下理穂、諸岡晴美	65
しば付け加工を可能とする合成皮革の研究	芳倉虹子、榎本雅穂、白井一彰	70

## Journal of Apparel and Space Design

### Contents

Study on the basic patterns as welfare community spaces in private houses	Miki Korenaga..... 51
Iconography of Legendary Hermit Xu You	Mao Jiaqi..... 57
Regional and seasonal differences in foot skin properties for designing summer socks	Nanami Tamaishi Riho Sakashita Harumi Morooka..... 65
Investigating wrinkle formation on synthetic leather	Niko Yoshikura Masao Enomoto Kazuaki Shirai..... 70

## 京都女子大学生生活造形学科「生活造形」投稿規定

2012. 7. 18 改定

2020. 1. 7 改定

1. 本誌は主として生活造形に関する総説、解説、文献紹介および報文、ノート、資料などを掲載する。なお原稿の分類は別表の通りとする。
  2. 原則として、投稿者は筆頭著者あるいは共著者として生活造形学科専任教員を含むものとする。これ以外の場合は、専任教員の同意に加え、編集委員会の議を経るものとする。
  3. 原稿掲載料は原則として無料とする。
  4. 原稿の採否、修正、その他は編集委員会が決める。
  5. 投稿原稿は、別途定める見本に従って割付けたA4版カメラレディ原稿とし、Word形式とPDF形式の2種類のファイルを提出する。本文のフォントは、和文では、明朝体10.5ポイント、一行23文字×40行の横2段組みとする。英文ではCentury 10.5ポイントを用いる。
  6. 報文の頭初には表題、著者名、所属機関を和文および英文で記載する。表題は、和文：明朝体14ポイント、英文：Century 11ポイント、著者名と所属機関は、和文：明朝体11ポイント、英文：Century 11ポイントとする。
  7. 報文には、本文が和文の場合は英文要旨を、目的・方法・結果・考察を含めて、本文中の内容を理解できるように平易な文で簡潔に書く。フォントはCentury 10.5ポイントとし、長さは150語程度とする。本文が英文の場合は和文要旨を添える。フォントは明朝体10.5ポイントとし、長さは400文字程度とする。
  8. 原稿の記載は次の形式による。
    - (1) 和文原稿では、原則として当用漢字・新かなづかいを用いる。
    - (2) 単位は原則として国際単位(SI)系とする(JISZ8203参照)。
    - (3) 参考文献・引用文献の書き方は下記を参考とする。

(和文雑誌) 著者名. 論文タイトル, 雑誌名, 巻, 号, ページ (発行年)  
(欧文雑誌) 著者名. 論文タイトル, 雑誌名, 巻, 号, ページ (発行年)  
(単行本) 著者名. 書名, 発行元, ページ (発行年)
- 〈例〉
- 1) 田村奈巳, 酒井哲也, 酒井豊子. 論文タイトル, 家政誌, 50, pp. 331-336 (1995)
  - 2) R. J. Pace, A. Datyner. Title, Text, Res. J.; 50, p. 34 (1980)
  - 3) T. Vickerstaff. "The Physical Chemistry of Dyeing", Oliver & Boyd CO., p.43 (1954)
  - 4) 江馬務. 「江馬務著作集第六巻」, 中央公論社, 東京, p. 19 (1977)
9. 図表の記載は次の形式による。

各図(写真も含む)、表には図4、表3のように表記し、簡単な表題をつけること。原稿には、図表の挿入箇所に関する指示を明示すること。
10. 校正は二校までは著者が行う。
11. 別刷は20部までは贈呈するので、希望者は二校時までに希望部数を届け出ること。
12. 投稿原稿データはEメール添付あるいはCDなどの媒体へ記録し、編集委員へ送付する。

種 類	内 容	最大頁数
a. 総 説	一つの主題についての総合的な論説や記事で、提案、批評などを含むもの	8
b. 解 説	研究、技術、社会情勢などに関する平易な解説	8
c. 文 献 紹 介	国内、国外の研究論文、書籍などの紹介	4
d. 博士論文要旨	前年度の博士論文の要旨	6
e. 修士論文要旨	前年度の修士論文の要旨	6
f. そ の 他	教職員の研究活動などに関する報告記事、会社・研究所などの見学記および学会行事などに関する報告など	4
g. 報 文	生活造形に関係のある研究で、新しい価値のある結論あるいは事実を含むと認められるもので、本誌に掲載される前に他の学術誌に投稿あるいは掲載されていないものに限る	8
h. ノ ー ト	原著論文であるが、論文としては十分な結論を得るに至っていないもの	8
i. 資 料	研究の資料として価値あるもので、上記の論文、ノートのいずれにも属さないもの	4

編集委員：井上 えり子・北尾 靖雅・前崎 信也・成実 弘至

表紙デザイン：二瓶 晃

編集後記：

ようやくコロナ禍が終わりを迎え、大学での授業や課外活動は正常化し、学生生活にかつての活気が戻ってきました。今年の受賞報告やゼミ活動を見ても、心なしか解放感のようなものを感じます。一方、戦争や温暖化による記録的な暑さなど、さまざまな困難が突きつけられた1年でもありました。時代の動きとともに、生活造形学科が社会の課題に応え、今後も発展していくことを願ってやみません。最後に、「生活造形」69号制作にご尽力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

H.N

---

京都女子大学生生活造形

令和6年2月20日 印刷

令和6年2月29日 発行

(会員頒布非売品)

編集責任者

井上 えり子

発行所

京都女子大学生生活造形学科

京都市東山区今熊野北日吉町 35

TEL 075-531-9018

印刷所

(株)北斗プリント社

京都市左京区下鴨高木町 38-2

TEL 075-791-6125

---

# 生活造形